

# 2024年度 学校法人東京滋慶学園 さいたまIT・WEB専門学校

## 学校関係者評価委員会 議事録

日時	2024年7月2日(火) 15:00~17:05(実会議時間)
会場	さいたまIT・WEB専門学校専門学校 PBLルーム
参加者	<p>【学校関係者評価委員】(敬称略)</p> <p>委員長 松本 明 (高等学校関係者) 宮崎和子 (保護者代表) 竹内美恵子 (地域関係者) 香山 哲 (業界関係者) 片山良平 (企業関係者) 小倉直樹 (企業関係者) ※オブザーバー</p> <p>【さいたまIT・WEB専門学校事務局】</p> <p>学校長 櫻田勝久 教務部長 小野真由美 教務部リーダー 塚山大成 学生サービスセンター 宿野部 有[議事録]</p>
次第	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 配布物確認、会式の言葉</li><li>2. 学校長 挨拶</li><li>3. 委員紹介</li><li>4. 2023年度総括</li><li>5. 2023年度自己点検・評価内容についての説明・質疑応答</li><li>6. 意見・感想</li></ol>
内容	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 配布物確認、会式の言葉 教務部長：小野 真由美 さいたまIT・WEB専門学校としてははじめてになりますが、学校関係者評価委員会を開催させていただきます。 自己点検表をご確認いただきながら、様々なご意見をいただければと思います。</li><li>2. 学校長挨拶 学校長：櫻田 勝久 2023年4月に開校し、開校2年目となりました。早くも就職学年を迎える年になりました。これまでに経験したことのない速さで時代が動いており、業界の皆様との連携が非常に重要になっております。また、本会の委員長は松本様にお願ひしております。本日は、様々な視点から忌憚のないご意見をいただき、学校の今後の展開に活かしていきたいと思ひますので、本日はどうぞよろしくお願ひいたします。</li><li>3. 委員紹介 ・委員のみなさまより一言あいさつ 委員長 高校代表 松本 明 様 保護者代表 宮崎 和子 様 地域代表 竹内 美恵子 様 業界代表 片山 良平 様 小倉 直樹 様 業界代表 香山 哲 様 ・事務局より自己紹介</li></ol>

4. 2023年度総括 教務部長：小野 真由美

【教育】専門学校版「個別最適化学習」に必要な教育プログラムの充実→○

【広報】高校で必修化された「情報」教育と実学を結ぶ入学前教育の充実→○

【就職】学習ポートフォリオの作成・活用を重視したキャリア教育の充実→△

【人事】理念・方針の共有を強化し、より教務を限定することで  
責任の強度を高める→◎

【地域】SDG's 公開講座としてPC基礎講座、プログラミング講座などの  
開催→×

・業界代表 片山 良平 様

これから本格的に就職支援がはじまると思うが、就職課を置かずに教務が就職支援する体制の効果は？

小野：在学中の学生の事をよく知る担任、教務が就職支援を行うことで学生のキャリア設計に責任を持つことを目的としております。業務量や業務内容については整理が必要な部分も多いが本来あるべき姿だと考えています。

5. 2023年度自己点検・評価内容についての説明・質疑応答

1. 教育理念・目的・育成人材像

・意見等とくになし

2. 学校運営

・意見等とくになし

3. 教育活動

・業界代表 香山 哲 様

学生は教育目標について認識しているのか？

1年教育を受けた2年生の満足度・評価はどうなっているのか？

塚山：入学前教育の段階で目標については共有し、ゴール設定を行ってから入学式を迎えている。在学中は前期、後期に授業アンケートを実施し平均 4.0 の評価を得ている。

・業界代表 香山 哲 様

学校側の認識と現実にズレがあると感じる。

職業（ラベル）が大事なのではない。C++を知っていてUnityが使えるというような、技術の汎用ができること、その認識が学校にあることが大事。その認識がしっかりできていれば、企業で受ける研修においても順応性が高くなる。

資格（タイトル）があっても仕事ができるとは限らない。そうなると、企業は成績ではなく適性検査（SPIのような）を重要視するようになってくる。まだ開校間もないので教育は「3」ではなく、もう少しシビアな評価でもいいのでは？

小野：今年新たに取り組んでいるのは学生の「やりたい」に応えるプログラムの開催。

カリキュラムの枠におさまらない内容を提供していきたい。

4. 教育成果

・意見等とくになし

## 5. 学生支援

・業界代表 香山 哲 様

メンタルケアを取り入れていることは非常に良いと思う。メンタルケアを必要としている社員は多い。素晴らしい取組み。もっと広く周知して欲しい。

・保護者代表 宮崎 和子 様

小・中学校にもスクールカウンセラーはいるが、敷居が高く踏み込めない学生が多くメンタル不調をおこしてしまう学生は多い。「いつでも来てね」というような敷居を下げる取組みをして欲しい。

小野：以前はカウンセリングを否定する学生も多かったが、今は自分からカウンセリング希望を出す学生も多い。専門機関と協力体制をとりながら学業継続できるよう支援を続けたい

## 6. 学生の募集と受入れ

・保護者代表 宮崎 和子 様

専門学校を取組みに対して高校側の認識の差が大きい。他県であった学校破綻等の印象が大きく財務基盤に不安を感じている。高校の先生にさいたま IT・WEB の特色が伝わっていない。滋慶学園のスケールメリットを伝えた方がいいと感じる。またハイフレックスを強く打ち出しているために警戒されている様子がある。授業料が高いのでは。

小野：高校の先生に向けて「情報」科目の教育内容についてお伝えすることで本校の教育内容を理解していただき信頼を得られるような取組みを企画している。ご理解をいただけるよう努力を続けたい。

## 7. 財務

・意見等とくになし

## 8. 法令遵守

・意見等とくになし

## 9. 社会貢献

・意見等とくになし

## 10. 国際交流

・意見等とくになし

## 6. 意見・感想

・地域代表 竹内 美恵子 様

しっかり考えられているなと思いました。

地域社会への参加を促していただき、視野を広げていただきたい。

・小倉 直樹 様

入学生のレベルに合わせた多方面での取組みが必要

・高校代表 松本 明 様

オンラインで国際交流ができる時代。

高校は学年で動いているので、3年間同じ話をしないと浸透しないので頑張りたい。高校へは探究活動への学習支援パッケージが売りになるのではないかな。